

神奈川県三浦市

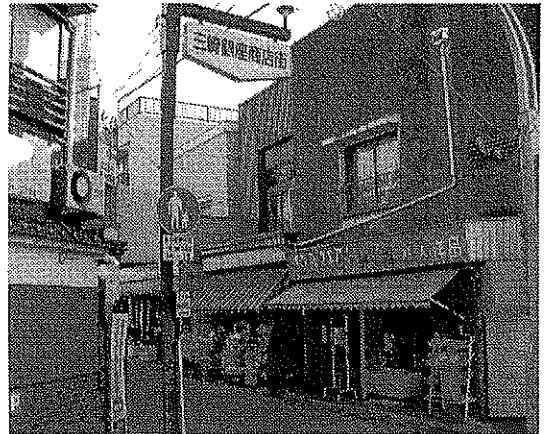
「漁師街」テーマに商店街再生

CFネッツがまちづくり

シー・エフ・ネッツグループのシー・エフ・ビルマネジメント(横浜市倉橋隆行社長)が企画した神奈川県三浦市の「下町・城ヶ島地区活性化事業」第2事業である「昭和の漁師街復活活性化プロジェクト」商店街のテーマパーク化」が4月から始動する。

三浦市では、同市の三浦海業公社が運営する産直センター周辺に集中していた来遊客を下町・城ヶ島地区へ回遊させることで来遊客の増加を図り、地域の活性化につなげるため2010年度から同事業を実施している(第2事業は11年、12年度に実施)。

第2事業では、同地区に多く残されている昭和初期の建造物を再利用することで「昭和の漁師街」としてテーマパーク化を表現していく。具体的には、同地区商店街で空室となっている店舗を有効に活用するためシー・エフ・ビルマネジメントが同社のノウハウを生かし



シャッター通り化が進んでいる三浦市下町・城ヶ島地区の商店街

ながら集客力のある店舗に再生する。また同社が起業塾を開校して地区内

に必要とする店舗の出店を促す。その他、同社による

「観光ガイドweb」「観光ガイドマップ」「プロモーションビデオ」の無料公開や著名な陶芸家である澤田痴陶人氏の美術館開館など、多くのプロジェクトを予定している。

なお、シー・エフ・ネッツグループでは4月17日、三浦市の三崎フィッシャリーナ・ウオーフ『うらり』2階・うみぎようプレイスで今後の三浦・城ヶ島の展望をテーマとした講演会を開催。同事業の概要を告知する。

講師は同グループ代表を兼ねるシー・エフ・ビルマネジメントの倉橋社長、吉田英男三浦市長、木村けんぞう神奈川県議会議員。時間は午後3時～5時(受付は午後2時30分)。参加無料。